

平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月27日

上場会社名 株式会社 レッグス

上場取引所 大

コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内川 淳一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員

(氏名) 中矢 猛

TEL 03-3408-3090

四半期報告書提出予定日 平成23年4月28日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	2,209	6.3	82	—	86	—	43	—
22年12月期第1四半期	2,078	42.2	△3	—	△3	—	△8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	1,706.01	1,701.91
22年12月期第1四半期	△345.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	3,970	2,693	67.2	105,381.82
22年12月期	3,687	2,669	71.7	104,493.94

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 2,666百万円 22年12月期 2,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	△5.4	50	△46.0	50	△46.1	30	△25.0	1,185.68
通期	9,500	4.1	200	3.7	200	△0.6	120	0.9	4,742.71

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、 除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年12月期1Q 27,100株 22年12月期 27,100株

② 期末自己株式数 23年12月期1Q 1,798株 22年12月期 1,798株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年12月期1Q 25,302株 22年12月期1Q 25,302株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる条件につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	5
【第1四半期連結累計期間】.....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が増加基調に転じつつあったことを反映し、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)に改善の兆しがありましたが、3月11日に発生した東日本大震災による、サプライチェーンの寸断や電力不足などの商品供給体制への影響および消費マインドの悪化により、本格的な回復は復興需要が成長を支えする7月以降との見方もあり今後の先行きは非常に不透明な状況です。

当社グループが属する広告・販促業界においても、震災以前はテレビCM等が前年比プラスに転じるなど広告・販促市況が上向き兆しも一部にありましたが、震災発生後はテレビCMの公共広告への置き換えやキャンペーンの自粛等、一時的に広告・販促出稿が大きく減少し、本格的に市況が回復するのは復興需要が顕在化する下半期以降との見方もあり依然予断を許さない状況にあります。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画において策定した市場戦略に基づいて従来の戦略市場である飲料・食品・流通及び通信業界を中心とする既存顧客の深堀り、特に、比較的企業体力のある大手を中心とする既存顧客の深堀りに加え、他業界での新規顧客開拓や昨今の顧客の販促ニーズの変化に対応した新規商材の提供等により、戦略市場及び提供サービスの幅をひとつひとつ広げるべく積極的な事業展開を行なってまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、まず売上高は大手飲料企業のキャンペーン予算縮小による減少があったものの、OEM顧客での新商品の販売好調により全体としては、前年同期比で増収となりました。

売上総利益率に関しては、OEM顧客向けで高利益率案件があったこと、および全社的な粗利益率向上プロジェクトの推進によるコスト低減の効果が徐々に出つつあることにより前年同期比で3.5ポイント改善しております。

営業利益、経常利益及び当期純利益に関しては、基幹システムの入替え費用および新規事業のシステム構築費用等の増加により販売費及び一般管理費の増加があったものの、増収と売上総利益率の改善により、前年同期比で増益となっております。

また、その他のトピックスといたしましては、近年積極的に推進しております海外展開が順調に進捗していることがあげられます。特に、経済発展の著しい上海においては、拡大するクライアントニーズに対応する為、平成20年10月に設立した当社子会社睿格斯(上海)貿易有限公司に続き、新たに、平成23年2月に広告業を主たる事業とする睿格斯(上海)广告有限公司を設立し、中国での更なる業務拡大を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,209百万円、営業利益は82百万円、経常利益は86百万円、四半期純利益は43百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて282百万円増加し、3,970百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金、商品が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて258百万円増加し、1,276百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、買掛金、賞与引当金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて24百万円増加し、2,693百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ110百万円減少し、1,325百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果支出した資金は81百万円となりました。これは主として仕入債務の増加166百万円等による資金の収入があったものの、売上債権の増加262百万円、たな卸資産の増加122百万円等による資金の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は11百万円となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出4百万円、無形固定資産の取得による支出4百万円及び保険積立金の積立による支出4百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は21百万円となりました。これは配当金の支払21百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成23年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による当社グループの人的及び建物損壊等の重要な被害はありませんでした。

このたびの震災による当社グループの業績に重大な影響が見込まれる場合は速やかにお知らせ致します。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ259千円減少し、税金等調整前四半期純利益は7,618千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,326,749	1,437,722
受取手形及び売掛金	1,573,482	1,309,039
商品	242,339	119,369
その他	203,176	199,655
貸倒引当金	△4,870	△3,005
流動資産合計	3,340,877	3,062,780
固定資産		
有形固定資産	31,259	26,858
無形固定資産	101,569	95,491
投資その他の資産		
その他	516,504	525,054
貸倒引当金	△20,192	△22,841
投資その他の資産合計	496,312	502,212
固定資産合計	629,141	624,563
資産合計	3,970,018	3,687,344
負債の部		
流動負債		
買掛金	560,490	392,637
未払法人税等	58,590	108,412
賞与引当金	92,960	47,881
役員賞与引当金	8,124	—
その他	236,324	152,749
流動負債合計	956,491	701,681
固定負債		
長期未払金	221,720	221,720
退職給付引当金	97,946	94,635
固定負債合計	319,666	316,355
負債合計	1,276,158	1,018,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	220,562	220,562
資本剰余金	267,987	267,987
利益剰余金	2,317,126	2,299,262
自己株式	△130,352	△130,352
株主資本合計	2,675,323	2,657,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,669	△1,679
繰延ヘッジ損益	31	△1,762
為替換算調整勘定	△6,315	△10,111
評価・換算差額等合計	△8,952	△13,554
新株予約権	23,767	21,816
少数株主持分	3,722	3,584
純資産合計	2,693,860	2,669,307
負債純資産合計	3,970,018	3,687,344

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	2,078,039	2,209,104
売上原価	1,611,825	1,635,893
売上総利益	466,213	573,210
販売費及び一般管理費	469,581	490,870
営業利益又は営業損失(△)	△3,367	82,339
営業外収益		
受取利息	256	201
受取手数料	1,160	5,866
受取保険金	552	—
その他	423	196
営業外収益合計	2,393	6,264
営業外費用		
為替差損	1,762	554
投資事業組合運用損	1,035	848
開業費償却	—	419
その他	89	70
営業外費用合計	2,887	1,892
経常利益又は経常損失(△)	△3,861	86,711
特別利益		
貸倒引当金戻入額	457	784
持分変動利益	—	319
特別利益合計	457	1,104
特別損失		
固定資産除却損	3,024	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,359
特別損失合計	3,024	7,359
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,429	80,456
法人税、住民税及び事業税	30,469	56,845
法人税等調整額	△21,359	△19,113
法人税等合計	9,109	37,731
少数株主損益調整前四半期純利益	—	42,724
少数株主損失(△)	△6,803	△440
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,735	43,165

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,429	80,456
減価償却費	4,600	5,816
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△457	△784
賞与引当金の増減額(△は減少)	44,545	45,079
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,675	8,124
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,106	3,311
受取利息及び受取配当金	△256	△201
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,359
売上債権の増減額(△は増加)	526,145	△262,359
たな卸資産の増減額(△は増加)	△410,316	△122,970
仕入債務の増減額(△は減少)	161,458	166,804
その他	△6,003	92,468
小計	322,068	23,103
利息及び配当金の受取額	256	201
法人税等の支払額	△1,633	△104,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,692	△81,573
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,763	△4,183
無形固定資産の取得による支出	△23,347	△4,150
保険積立金の積立による支出	△3,836	△4,200
貸付けによる支出	△1,500	—
貸付金の回収による収入	1,261	1,326
その他	1,469	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,716	△11,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△12,651	△21,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,651	△21,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	384	3,069
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	280,708	△110,989
現金及び現金同等物の期首残高	1,026,684	1,436,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,307,393	1,325,917

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。